

主な仕様 **ヘリコプターによる石油タンク点検システム** **COSMOWAVE**

- 2.4GHz SS 画像伝送システム
 送信電力：10mW / MHz 無線チャンネル数：3ch 無線伝送速度：1Mbps
 伝送距離：20Km (見通し最大) 入出力信号：NTSC 伝送フレーム数：最大 20 フレーム / 秒
 機外取付アンテナまたは機内持込アンテナによる送信
 地上施設点検用の携行兼用送信パック・本部屋上受信アンテナ常時設置

- ヘリコプター運航 北海道航空株式会社
 使用機材 ヘリコプター : エアロスパシアル AS350B2
 カメラシステム : ACE401 型機外取付防振カメラ装置

北海道新聞
2006年(平成18年)1月20日(金曜日)

室蘭民報
2005年(平成17年)10月5日(水曜日)

地震発生時

タンク損傷 ヘリで確認

【室蘭】新日本石油精製 室蘭製油所は十九日までに、地震発生時に原油貯蔵タンクなどの損傷の有無を、カメラ搭載のヘリコプターで上空から監視するシステムを導入することを決めた。二〇〇三年の十勝沖地震の際、苫小牧市の出光興産北海道製油所でタンク

新日石室蘭

火災が相次いだことを受け、程度の規模の地震が起きた安全対策の一環という。同システムの導入は新日本石油精製の全国七製油所で初めて。

室蘭製油所は札幌・丘珠空港を基地にする北海道航空(札幌)と契約し、一定

十勝沖地震が教訓 カメラ画像を受信

タンクの点検は通常、社

員が備え付けの階段をタンクの頂上部まで上がり、目視で行っている。同製油所は「大きな地震の際には余震も考えられ、階段を使うのは危険」として、ヘリコプター導入を決めた。新システムは所内のハンディーカメラで撮影した画像も受信でき、同製油所は日常的な

ヘリで石油タンク点検

新日石室蘭 導入を検討



石油タンクを上空から撮影したヘリコプターによるデモフライト

ヘリコプターによる石油タンクの点検システム(小菅重光所長)は四日、導入を検討している新日室蘭市陣屋町の同所構内で本石油精製室蘭製油所展開、ヘリからの撮影で

タンクが鮮明に映ることを確認した。平成十五年苫小牧市内の製油所で発生した浮き屋根式タンク火災を受け、ヘリから浮き屋根式タンクを撮影し、同製油所にビデオ映像を転送する。

タンクが鮮明に映ることを確認した。平成十五年苫小牧市内の製油所で発生した浮き屋根式タンク火災を受け、ヘリから浮き屋根式タンクを撮影し、同製油所にビデオ映像を転送する。

る点検システムの導入を検討している。この日は、同所構内に対策本部と臨時ヘリポートを設置。同所社員が構内のヘリポートからヘリに乗込み、上空からタンク十一基に異常がないことを確認。対策本部は、パイロットにタンク周辺を旋回するように指示。小菅所長らが転送されたビデオ映像が鮮明に映っていることを確認した。同製油所は「ヘリからタンクを鮮明に撮影することが可能と分かった。システム導入に向け、前向きに検討していく」と述べた。本年度内にシステムの有効性を判断しながら導入の可否を決める。

実験結果：ヘリからの映像が防災対策本部へ伝送され、浮き屋根タンク周辺が鮮明に確認できました。